

質問

QUESTION

教育現場などの新型コロナウイルス感染症防止対策は

回答

ANSWER

園児・児童生徒の健康を守るという強い思いで進めています

[学校教育課長]



そばしま ひろあき
傍嶋 邦博

質問

こども園・小学校・中学校の感染症防止対策と現在抱えている問題点や今後の課題は。

問題点は、

回答

教室の椅子は1mの間隔を空け、

常時窓を開けて換気を行い、給食は相向かいでは食べず、各教室や保育室に消毒液を設置しています。また、毎朝の検温と健康観察の協力を保護者をお願いしています。教職員や保育士は机や椅子、ドアノブなどの定期的消毒をしています。

問題点や課題は運動会や文化祭など大勢が集まる行事ですが、時間短縮や分散開催で実施は可能と考えています。また、子ども達への教育として、感染した人への差別・いじめの防止に取り組んでいます。

質問

働き方改革が叫ばれる今、小中学校教員は、感染症防止対策の仕事が増え、

しかも授業の遅れを取り戻すため相当な負担があるかと思えます。そこで、授業終了後の消毒作業は、国や県からの交付金を有効活用し、マンパワーを投入してはいかがですか。

回答

児童生徒支援員やスクールサポートスタッフの協力を得ながら、消毒を実施しています。また、

非接触型蛇口やパーテーション、サーモグラフィーを設置し、教職員の負担軽減の環境を整えていきます。

回答

少子化に伴う園児数の激減、施設の老朽化、保育サービスの格差という課題を解消するため統合はなくてはなりません。

現在の新型コロナウイルス感染症防止対策を継続し、新しい生活を確立しつつ進めています。



小中学校で取り替えを予定している非接触型蛇口

質問

コロナ禍でのこども園の統合計画は

回答

感染防止対策をしながら統合計画を進めています

[町長]

質問

業者、元教員、PTAなどの力を借りるなど、少しでも教職員の負担を軽減できる取り組みをしてみたい。

こども園の統合計画は重要ですが、統合後は園児数が増えます。このコロナ禍でも進めていく理由と、どのような感染症防止対策を進めているのですか。